

2021年3月期 第1四半期 決算補足資料

2020年8月6日

京阪ホールディングス株式会社

(東証1部 9045 [https:// www.keihan-holdings.co.jp/](https://www.keihan-holdings.co.jp/))

◆見通しに関する注意事項◆

業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2021年3月期 第1四半期

決算の概要

連結損益計算書

- 新型コロナウイルス感染症拡大によるインバウンド需要の減少や国内における外出自粛の影響による大幅な減収に加え、不動産業における前年同期のマンション販売の反動減などにより減収。また、各段階の損益においても大幅に悪化し、第1四半期決算としては過去最低。

(単位：百万円)

	2021/3 1Q実績	2020/3 1Q実績	増減	増減要因
営業収益	44,136	80,331	△36,194 (△45.1%)	※新型コロナウイルスの影響△274億円
営業損益	△5,620	12,207	△17,828 (-)	※新型コロナウイルスの影響△167億円
営業外収益	595	779	△184	
営業外費用	912	782	130	
経常損益	△5,937	12,204	△18,142 (-)	
特別利益	2,304	684	1,620	投資有価証券売却益 + 1,718
特別損失	992	104	888	新型コロナウイルス感染症による損失 + 947
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△3,403	8,678	△12,082 (-)	
受取利息及び配当金	333	559	△225	
支払利息	513	576	△62	
金融収支	△179	△16	△162	

セグメント情報

(単位：百万円)

		2021/3 1Q実績	2020/3 1Q実績	増減額	増減率
運 輸 業	営 業 収 益	13,413	24,552	△11,138	△45.4%
	営 業 損 益	△4,991	4,760	△9,751	—
不 動 産 業	営 業 収 益	16,457	26,532	△10,075	△38.0%
	営 業 損 益	3,681	5,046	△1,365	△27.1%
流 通 業	営 業 収 益	17,361	24,069	△6,707	△27.9%
	営 業 損 益	△277	866	△1,143	—
レジャー・サービス業	営 業 収 益	863	9,123	△8,259	△90.5%
	営 業 損 益	△3,230	965	△4,195	—
その他の事業	営 業 収 益	570	497	73	14.7%
	営 業 損 益	△413	30	△444	—
全 社 ・ 消 去	営 業 収 益	△4,529	△4,443	△86	—
	営 業 損 益	△389	537	△927	—

新型コロナウイルスの影響

《影響の概要》

4月の緊急事態宣言発令により、当社グループの各事業は厳しい状況に陥りました。特に、レジャー・サービス業や運輸業では、外出自粛に伴う利用者数減少の影響が非常に大きく、流通業では、政府や地方自治体の要請による店舗休業の影響を受けました。

5月の緊急事態宣言解除後も国内経済は十分には回復しておらず、インバウンド需要減少の影響などもあり、経営成績は前年同期には及ばず、厳しい結果となりました。

《影響額（第1四半期連結累計期間）》

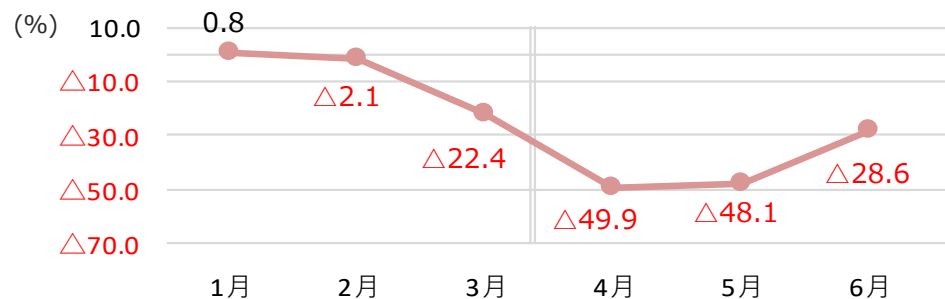
	営業収益	営業損益	主な影響
運輸業	△113億円	△106億円	鉄道・バスの旅客数減少
不動産業	△4億円	△3億円	展示場・貸し会議室利用数の減少
流通業	△68億円	△12億円	商業施設の利用者数減少
レジャー・サービス業	△81億円	△41億円	ホテル・レジャー施設の利用者数減少
その他の事業	△6億円	△3億円	商業施設の利用者数減少
合計	△274億円	△167億円	

《休業施設等の固定費の会計処理》

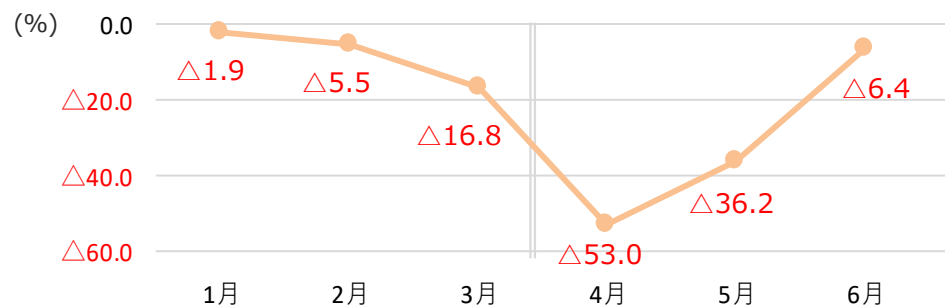
緊急事態宣言発令期間中の休業施設等に係る固定費（人件費、賃借料、減価償却費など）**947百万円**を「新型コロナウイルス感染症による損失」として特別損失に計上しました。

影響を受けた主な事業の状況

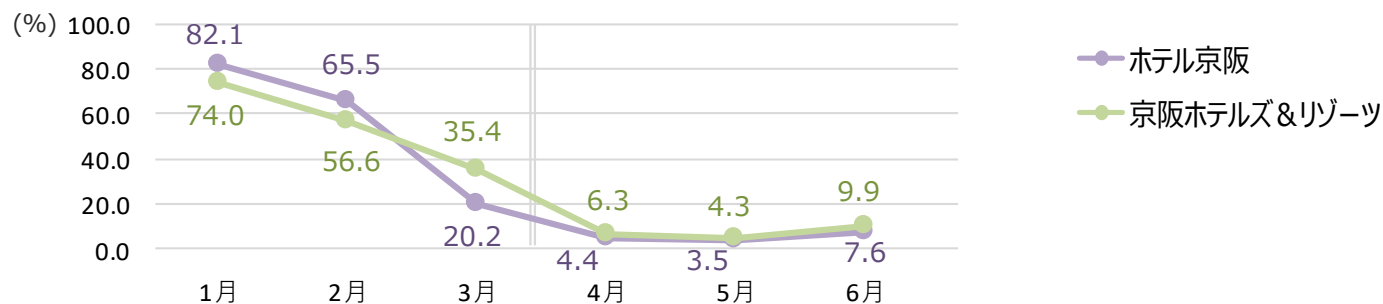
《京阪電気鉄道 旅客数対前年比》



《京阪百貨店 営業収益対前年比》



《ホテル客室稼働率》

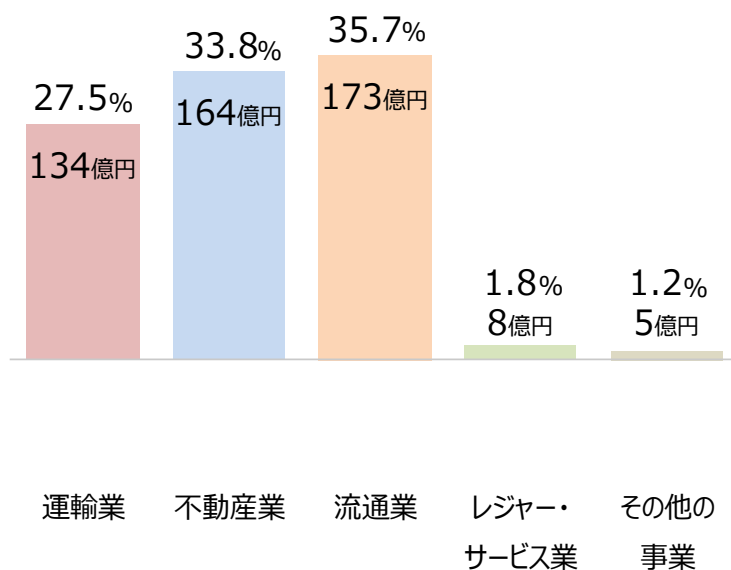


セグメント情報（構成比）

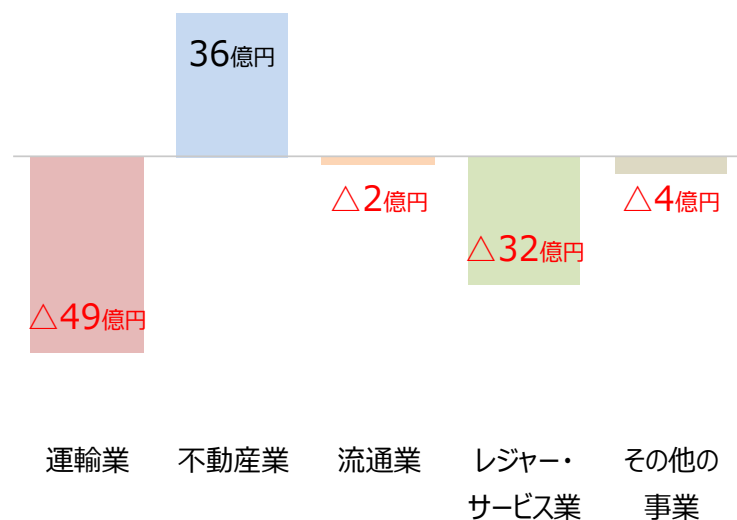
【連結対象会社】42社（対前年同期 1社増） 【持分法適用会社】2社（対前年同期 増減なし）

運 輸 業	京阪電気鉄道、京福電気鉄道、京阪バス 他12社
不 動 産 業	京阪ホールディングス、京阪電鉄不動産、ゼロ・コーポレーション、京阪建物 他8社
流 通 業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ、ビオ・マーケット 他1社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート、琵琶湖汽船 他5社
そ の 他 の 事 業	ビオスタイル、京阪カード

<セグメント別営業収益>



<セグメント別営業損益>



(注)セグメント数値は、セグメント間取引消去を含む金額、構成比であります。

%は各セグメントの構成比を表しており、各セグメントの構成比を合計すると100%になります。

セグメント情報（運輸業）

（単位：百万円）

	2021/3 1Q実績	2020/3 1Q実績	増減額	増減率
営業収益	13,413	24,552	△11,138	△45.4%
鉄道事業	11,493	19,686	△8,192	△41.6%
バス事業	3,835	7,117	△3,282	△46.1%
消去	△1,916	△2,252	336	—
営業損益	△4,991	4,760	△9,751	—
鉄道事業	△3,555	3,858	△7,413	—
バス事業	△1,434	901	△2,335	—
消去	△1	1	△2	—

（主な増減要因）

- 鉄道事業は、新型コロナウイルスの影響による旅客数減少の影響が大きく、減収・損益悪化。
- バス事業は、新型コロナウイルスの影響による乗合収入や定期観光収入の減少などにより、減収・損益悪化。

運輸成績 京阪電気鉄道

		2021/3 1Q実績	2020/3 1Q実績	増減	増減率
		百万円	百万円	百万円	%
旅 客 収 入		7,292	13,504	△6,212	△46.0
	定 期 外	3,888	9,180	△5,292	△57.6
	定 期	3,404	4,323	△919	△21.3
		千人	千人	千人	%
旅 客 数		44,418	77,009	△32,590	△42.3
	定 期 外	16,462	39,033	△22,571	△57.8
	定 期	27,956	37,975	△10,019	△26.4

(定期外旅客収入の主な増減要因)

- 新型コロナウイルスの影響△5,290百万円

(定期旅客収入の主な増減要因)

- 新型コロナウイルスの影響△893百万円

セグメント情報（不動産業）

（単位：百万円）

	2021/3 1Q実績	2020/3 1Q実績	増減額	増減率
営業収益	16,457	26,532	△10,075	△38.0%
不動産事業	13,382	23,487	△10,104	△43.0%
不動産販売業	6,344	16,589	△10,244	△61.8%
不動産賃貸業	6,081	6,000	80	1.3%
その他	956	897	59	6.6%
建設事業	4,269	4,051	217	5.4%
消去	△1,194	△1,005	△188	—
営業損益	3,681	5,046	△1,365	△27.1%
不動産事業	3,691	5,070	△1,378	△27.2%
不動産販売業	491	2,061	△1,570	△76.2%
不動産賃貸業	3,083	2,905	177	6.1%
その他	117	102	14	14.0%
建設事業	△120	13	△134	—
消去	110	△36	147	—

（主な増減要因）

- 不動産販売業は、前年同期の「ザ・京都レジデンス御所東」などのマンション販売の反動減により、減収減益。
- 不動産賃貸業は、前年度に取得した物件の通期寄与などにより、増収増益。

セグメント情報（流通業）

（単位：百万円）

	2021/3 1Q実績	2020/3 1Q実績	増減額	増減率
営業収益	17,361	24,069	△6,707	△27.9%
百貨店業	8,257	12,089	△3,832	△31.7%
ストア業	5,962	7,620	△1,658	△21.8%
ショッピングモールの経営	2,500	3,641	△1,141	△31.3%
その他	1,458	1,903	△445	△23.4%
消去	△816	△1,186	370	—
営業損益	△277	866	△1,143	—
百貨店業	△236	132	△368	—
ストア業	36	180	△143	△79.6%
ショッピングモールの経営	44	493	△448	△91.0%
その他	△125	56	△182	—
消去	3	4	△0	—

（主な増減要因）

- 百貨店業は、新型コロナウイルスの影響による各店舗の一部休業などにより、減収・損益悪化。
- ストア業は、新型コロナウイルスの影響により駅近・空港内の商業施設が苦戦し、減収減益。
- ショッピングモールの経営は、新型コロナウイルスの影響による「KUZUHA MALL」の休業などにより、減収減益。

セグメント情報 (レジャー・サービス業)

(単位：百万円)

	2021/3 1Q実績	2020/3 1Q実績	増減額	増減率
営業収益	863	9,123	△8,259	△90.5%
ホテル事業	590	8,057	△7,467	△92.7%
レジャー事業	280	1,072	△792	△73.9%
消去	△6	△7	0	—
営業損益	△3,230	965	△4,195	—
ホテル事業	△2,939	842	△3,782	—
レジャー事業	△294	117	△412	—
消去	3	4	△0	—

《ホテル稼働率 内訳》

	2021/3 1Q実績	2020/3 1Q実績	増減
ホテル京阪	5.2%	92.0%	△86.8pt
京阪ホテルズ & リゾーツ	6.8%	87.2%	△80.4pt

(主な増減要因)

- ホテル事業は、新型コロナウイルスの影響による各店舗の休業や営業規模の縮小などにより、減収・損益悪化。
- レジャー事業は、新型コロナウイルスの影響による連休・休業などにより、減収・損益悪化。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2021/3 1Q実績	2020/3 実績	増減額	増減要因
資 産	流 動 資 産	191,797	177,016	14,781	現金及び預金 + 13,196
	固 定 資 産	556,542	555,808	734	繰延税金資産 + 2,616、 建物及び構築物△2,226
	資 産 合 計	748,340	732,824	15,516	
負 債	流 動 負 債	171,877	167,695	4,181	短期社債 + 6,499、前受金 + 5,220、 未払金△6,135
	固 定 負 債	328,700	311,069	17,631	長期借入金 + 17,498
	負 債 合 計	500,577	478,765	21,812	
純 資 産		247,763	254,058	△6,295	利益剰余金△5,279 ※自己資本比率32.5% (△1.6pt)
負 債 純 資 産 合 計		748,340	732,824	15,516	
有 利 子 負 債		351,895	327,132	24,763	借入金 + 18,268、短期社債 + 6,499

※有利子負債：借入金 + 社債 + 短期社債

2021年3月期
業績予想

2021年3月期 業績予想

1. 当期の連結業績予想の公表延期について

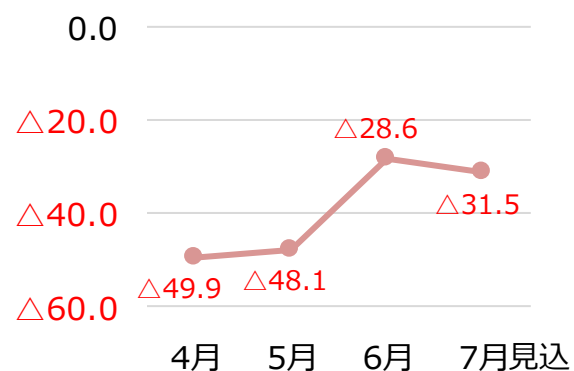
当期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 感染症拡大が当期の連結業績に与える影響について

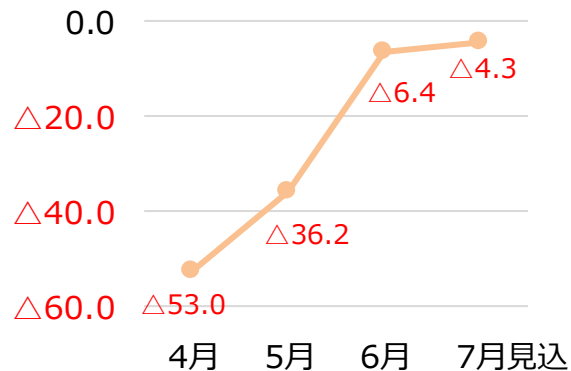
緊急事態宣言は解除されたものの、関西圏においても感染者が再び増加するなど感染症収束の見通しは不透明であり、移動の自粛ムードは継続しております。また、海外においても感染症は拡大しており、インバウンド需要も回復の兆しは依然見えません。そのため、今後も鉄道事業・バス事業の旅客数やホテル事業の稼働率が低調に推移した場合、業績に大きな影響を与える可能性があります。

《足元の状況（2020年4月～2020年7月見込）》

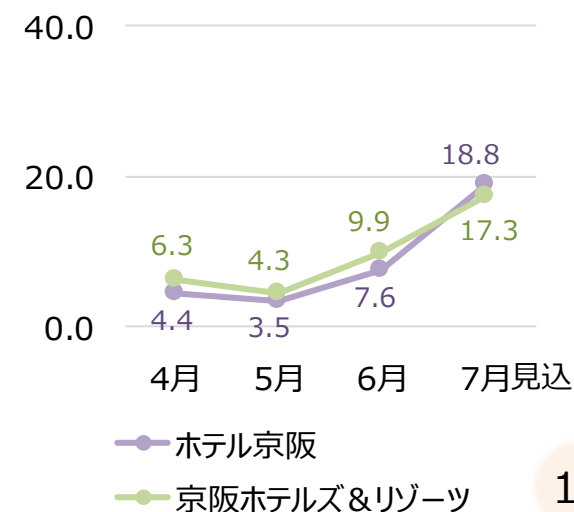
(%) 京阪電気鉄道 旅客数対前年比



(%) 京阪百貨店 営業収益対前年比



(%) ホテル客室稼働率



お問い合わせ先



京阪ホールディングス株式会社

経営統括室経理部

TEL 06-6944-2527

FAX 06-6944-2562